

I 基本理念、職員行動指針、利用者・地域支援基本方針

基本理念

「LOVE & HEART」

1. 愛・真心 「すべての人々に愛と真心を」
2. 自立・発展 「あなたもわたしも活躍できる場を」
3. 地域・共生 「地域と共に生きる・活かす・創る」

職員行動指針

1. 私たちは、すべての方々に笑顔と真心をもって寄り添います。
2. 私たちは、笑顔と思いやりが溢れる職場を作ります。
3. 私たちは、地域社会の発展、福祉の充実のために様々なニーズに応えていきます。

利用者・地域支援基本方針

1. 利用者の人権を擁護し、人としての尊厳を守ります。
2. 利用者が、その有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう支援します。
3. 利用者が、心身ともに安心・安全な生活を送ることができるよう職員の資質の向上に努めます。
4. 本会は、その有する知的資産、資源及び設備を地域社会に還元します。

II 事業報告

事業名	1. 経営基盤の強化	
事業の概要		備考
(1) 役員会等の開催（理事会、評議員会の充実）		年間
1) 理事会 3回（全て集合開催：6/11、11/28、3/7）		
2) 評議員会 3回（全て集合開催：6/27、12/13、3/25）		
3) 監事監査 4日間（5/27・28、6/3・4）		
4) 内部監査 5日間（10/18・25・28・31）職員間による業務、経理の牽制		
5) 公認会計士による会計事務確認・指導 12回（月1回）及び内部監査に同行		令和3年7月～月例
6) 指導監査・実地指導		
① 社会福祉法第70条に規定する指導監査または運営指導		
ア 対象：障害者支援センター すてっぷ		
指定生活介護、指定就労継続支援B型		
監査機関：鹿児島県南薩地域振興局		
期 日：令和6年7月8日		
結 果：文書指摘事項なし		
イ 対象：特別養護老人ホーム 望洋の里		
監査機関：鹿児島県南薩地域振興局		
期 日：令和6年11月11日		
結 果：文書指摘事項なし		
ウ 対象：障害者支援施設 慈生園		
指定生活介護、指定就労継続支援B型		
監査機関：鹿児島県南薩地域振興局		
期 日：令和7年1月24日		
結 果：文書指摘事項なし		
エ 対象：相談支援事業所 なんさつ		
指定地域移行支援、指定地域定着支援		
監査機関：鹿児島県南薩地域振興局		
期 日：令和7年1月30日		

結 果：文書指摘事項なし
 オ 対 象：グループホーム 望岳荘 指定共同生活援助（介護）
 監査機関：鹿児島県南薩地域振興局
 期 日：令和7年1月30日
 結 果：文書指摘事項なし
 カ 対 象：障害者支援施設 榎山学園
 指定障害者支援施設、指定短期入所、指定生活介護
 監査機関：鹿児島県南薩地域振興局
 期 日：令和7年3月7日
 結 果：文書指摘事項なし

（2）福祉サービスに関する相談・苦情

1）受付件数	相談	苦情	計
榎山学園	1	5	6
慈生園	0	2	2
すてっぷ	3	0	3
つどい	1	1	2
望洋の里	0	0	0
寿楽園	0	0	0
合 計	5	8	13

- 2）相談案件：①利用者の不快な行動 ②利用者の勤務態度
 ③買い物の送迎 ④共有物品の購入
 3）苦情案件：①利用者支援 ②利用者保護者との応対
 ③配食車両の運転 ④他の利用者の食事態度（マナー）
 4）対応：全ての案件について、対象事業所において説明等によって理解を得て改善とつながっている。
 5）第三者委員へ報告：上記対応の結果をふまえ、受付件数及び対応結果について定期的（半期ごと）に報告済み。

（3）内部研修の実施及び外部研修の受講（理事、監事、職員）

法令遵守、権利擁護、監査の着眼点、制度改正、会計事務、新任・中堅・管理者向け、介護実務、強度行動障害対応、サービス管理責任者、相談支援専門員、人材育成、リスクマネジメント、メンタルヘルス、職員採用、他

（4）触法者、生活困窮者支援

新型コロナウイルス感染症発生以降休止中

（5）事務局の一本化、事務・現場業務の効率化に向けた取り組み

- 1）ICT委員会の報告を以って法人事務連絡会に提案
 ①事務担当職員において事務の煩雑さの解消ために必要とされるシステムについて検討、協議継続
 ②勤怠管理に関し、一部システムの試行的導入運用
 （榎山学園、慈生園、すてっぷ、望洋の里、寿楽園）
 ③無線通信、接続（Wi-Fi「ワイファイ」）環境の整備
 ≪説明≫ ICT（Information and Communication Technology）＝情報通信技術といった情報システムの導入及び活用と連動することが、事務的業務の効率化に寄与するといった考えから「ICT 委員会」を立ち上げ、本会の既存のシステムとの連動、必要とするシステムの稼働内容について思案。

（6）求人活動への取り組み

年間

年間

1) ハローワーク等求職・求人関係研修会、説明会への参加	
2) 高校生、福祉サービス求職者向け事業所紹介活動	

事業名	2. 施設整備	
事業の概要		備考
(1) 各事業所において建築物の維持管理に関する短期、中期、長期計画に基づいた施設管理の推進。 (2) 新たな施設整備 1) 地域交流センターはやま（旧別府中学校）屋外整備 (3) その他施設整備 車両、農耕機械、見守りカメラ、災害用ポータブル電源、テラス設置、物置設置、パソコン、通信機器、洗浄機 (4) 主な改修等 1) 台風災害、落雷災害、空調機、給湯器、照明LED化、浄化槽、高圧電気設備、スプリンクラー、燃料タンク、ポンプ		年間

事業名	3. 利用者処遇	
事業の概要		備考
(1) 利用者各位の有する能力、機能、特性を理解し、ADL（起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容等）といわれる日常生活を送るために最低限必要の日常的な動作に加え、IADL（電話の使用・買い物・食事の準備・清掃・身の回りの片づけ・洗濯・移動・服薬管理・外出・社会見学等）という応用的な動作の維持または実行につなげることによって、生活の質（QOL: Quality of Life）や自己満足が高まるといった方針に基づいた支援を提供した。 (2) 虐待、身体拘束の排除 1) 会議、内部・外部研修を通して、権利擁護と人権侵害の観点から人としての在り方の醸成、人が人を支援することの意義と起こり得るリスクについての理解に寄与する機会を提供し、理解を促すことによって発生しない環境の構築に努めた。 (3) 感染症対策 1) 新型コロナウイルスについては、令和5年5月8日以降も継続して事業所内で「発生させない、持ち込まない」をスローガンに掲げ、体調不良の疑いのある利用者の早期対応、体調不良職員が出勤を自粛しやすい環境の構築、簡易検査キットを効果果的に有効し、感染対策に努めた。 2) 新型コロナウイルス以外の感染症についても感染防止・発生後の対応等事業継続計画に基づき実行した。		年間

事業名	4. 職員処遇	
事業の概要		備考
(1) 職員の誕生月に金券2,000円分（食事券、商品券）の贈呈 (2) 小学生以下の子を有する職員に対して、子の長期休業（春・夏・冬休み）中においては昼休憩時間の延長 (3) 物価高騰に対する福利厚生として一時金の支給 （職員：20,000円、就労継続支援A型利用者：10,000円） (4) 年次有給休暇、介護・育児休業、介護・育児短時間労働の積極的な取得を促した。		年間 1月

1) 年次有給休暇取得経過

	全体	男性	女性	常勤	パート
総 計	61.1%	57.3%	65.4%	60.1%	60.7%
本部	—	—	—	—	—
榎山学園	60.0%	58.0%	62.0%	58.0%	65.0%
慈生園	57.0%	51.0%	68.0%	55.0%	66.0%
すてっぷ	86.0%	87.0%	88.0%	93.0%	76.0%
つどい	62.8%	56.9%	71.5%	43.7%	80.6%
望洋の里	56.7%	47.7%	58.5%	54.5%	59.9%
寿楽園	43.8%	42.9%	44.3%	56.3%	16.7%

2) 育兒休業取得経過

	女性職員			男性職員		
	出産した 職員数	育児休業 取得者数	小学校就 学前の子 の育児の 休暇制度 利用者数	配偶者が 出産した 職員数	育児休業 取得者数	小学校就 学前の子 の育児の 休暇制度 利用者数
単位：人						
総 計	2	3	3	3	0	0
本部	0	0	0	0	0	0
榎山学園	1	2	3	3	0	0
慈生園	1	0	0	0	0	0
すてっぷ	0	0	0	0	0	0
つどい	0	1	0	0	0	0
望洋の里	0	0	0	0	0	0
寿楽園	0	0	0	0	0	0

事業名	5. 職員の資質向上
-----	------------

事業名	6. 地域交流・貢献活動
-----	--------------

事業の概要		備考
(1) 地域交流センターはやまを拠点とした取り組み、地域開放 ○はやまdeマルシェの開催 ○グラウンド、体育館、キャンプ、遊具施設		年間 11月16日
(2) 第36回新茶・大野岳マラソンinえい 軽食・花プランター提供		4月29日
(3) そよ風事業への取り組み 別府小学校、2自治会への支援		年間
(4) 別府地区主催行事（まちづくり事業他）への協力		11月9日他